

LMI 世界宣教会近藤恵宣教師会計報告 (08年4月～6月)

		4月	5月	6月
収入	近藤恵宣教師指定	214,200	234,700	241,000
	前月繰越金	837,899	1,002,444	744,944
	合 計	1,052,099	1,237,144	985,944
支出	近藤恵宣教師支援金	0	300,000	0
	語学研修費	0	168,000	0
	年金・支える会経費	28,655	1,200	500
	LMJ事務局費	21,000	23,000	24,000
	次月繰越金	1,002,444	744,944	961,444
	合 計	1,052,099	1,237,144	985,944

※宣教師支援金は必要に応じて随時送金

献金者お名前

(教会) 岩井キリスト教会、大磯キリスト教会、大泉聖書教会、かもい聖書教会、神栖めぐみキリスト教会、行田カベナント教会、自治医大前キリスト教会、下館キリスト教会、湘南ライフタウンキリスト教会、蓮田キリスト教会、日立福音キリスト教会、本郷台キリスト教会、前橋キリスト教会、水戸下市キリスト教会、武蔵台キリスト福音教会、横浜緑園キリスト教会

(個人) 有家洋子、池田百合子、井上稲子、御澤雅江、香川聖恵、川崎豊、国井昭男、倉持芳、小池宏明、芝田寛二・正子、武田香、立石哲・早苗、中井靖子、西村久男、藤川多嘉子、松浦洋子、三浦健治、光畑京子、棟方牧仁・真弓、安田是和、久が原の家庭集会、匿名(敬称略)

尊い献金をありがとうございました。

編集後記

近藤恵宣教師の派遣式が6月30日、お茶の水クリスチャンセンターで行われました。恵宣教師は、原田憲夫LMJ理事長はじめ理事の先生方の按手の祈りを受け、宣教の思いをさらに熱くさせていただきました。バングラデシュに向かう10月初めまでの間、できるだけ多くの方にお会いし、ともに祈り、賛美し、励まし合う機会が与えられれば、と願っています。(ひ)

「それは、あなたがたが、心を一つにし、声を合わせて、私たちの主イエス・キリストの父なる神をほめたたえるためです」(ローマ15:6)

連絡先: 〒329-0403
栃木県下野市医大前3-7-1
近藤恵宣教師を支える会
(自治医大前キリスト教会内)
Tel&Fax: 0285-44-7564
ホームページ
<http://homepage3.nifty.com/meg/>
E-mail: meg0_02007@yahoo.co.jp
郵便振替払込
口座番号: 00110-1 番号: 91993
加入者名: LMI世界宣教会
通信欄: 近藤恵宣教師指定献金

Liebenzell Mission
International of Japan

近藤恵宣教師ニュースレター NO.5

2008. 7. 20

発行: 近藤恵宣教師を支える会

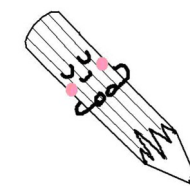


神様の手のもの

小さなえいじつ

わたしは神の手の中にある小さな鉛筆のようなものです。神が考え、神が書くのです。鉛筆は何もしません。鉛筆はただ使われるだけです。

(マザー・テレサ)



良いことの知らせを伝える人々の足は、なんとりっぱでしょう。

(ローマ人への手紙10:15)

8か月ぶりの日本ですが、湿度と温度が上がって、だんだん日本らしい夏になってきましたね。暑くてもトロントにいた時より、何となく体がしっくりするというのは、長年日本で暮らしてきたせいでしょう。

トロントでは、本当にたくさんの恵みをいただきました。上記のみことばを歌ってくれたのは、見学させてもらっていたMissionary Health instituteに患者さんとして来た5歳の女の子です。主は、私を愛し、励まし、またトレーニングするために、カナダの地で、たくさんの方を備えてくださいました。みなさまのお祈りと尊いささげものを感謝します。

日本に帰ってきました

去年の10月16日に日本を発ち、約8か月のトロントでの研修を終えて、6月27日に日本に帰ってきました。

10月16日、トロントのピアソン空港で、LM-Canadaのスタッフのバスに温かく迎えられ、その後数日をトロント郊外のモファットで過ごしました。出発前に就学許可証をとるのに手間取り、疲れ切っていた私は、ここで本当に泥沼から引き上げられた平安を得ました。19日にトロント市内に移りWillowdale Evangelical Churchの2階のアパートで、ドイツからの3人のcandidate(宣教師訓練生)と一緒に暮らす生活が始まったのです。

この3人のひとりがリーです。

彼女は、私と年齢も近く、若いカップルがほとんどのcandidateの中にあって、本当に主は、私のために彼女を置いてくださったのだと思います。彼女と一緒に食事をし、学校に行き、コーヒータイムをとるに、人と接するのが好きな彼女に連れられて、いろいろな方々にお会いすることもできました。

私を誤解していた英語学校の先生に、抗議もしてくれました。彼女がいなければ、私のカナダ滞在はもっと辛かったでしょう。リーと主に心から感謝します。

英語学校は小さいですが、ひとりひとりに目をかけてくれ、祈ってくれる先生方のいる良い学校でした。ここで、イラン人の先生との間で誤解があり、辛い時期を通りました。異なる文化で生きてきた人同士が理解しあうことの訓練、そして祈りを聞いてくださる主に対する信頼の訓練でもありました。

8か月の間、本当に多くの方々にお会いし、愛され、励まされました。ドイツ人のcandidateの中にいる、ただ一人の日本人である私を心配し、祈り、支えてくれたLM-Canadaのひとりひとり、そして自分たちのメンバーの一人として大切に迎えてくれたcandidateたち、家族の一員として思ってくれた Dovercourt Baptist Churchの人たち、英語学校の先生たち、LM-USAの人たち、トロントで出会ったバングラデシュの人たち、私が出会った書ききれないほどの全ての方々に感謝します。



主はいつでも、どこでも温かく迎えてくれる人たちを備えてくださる

「神様が置かれる足跡」



小森るみ子姉妹(旧姓)と共にバングラデシュ宣教に召されて日本を発ってから、すでに8年の歳月が過ぎようとしています。ドイツ・リーベンゼラから派遣されていたセンタ姉妹、エリケ姉妹からのバトンタッチでした。そして村の人たちと話をすれば、初代のシスターたちや短期で働いた人たちの足跡が、バングラデシュの地に懐かしい思い

出と共にしっかりと残っているのが見えました。長い年月、歩き続けた足跡もあれば、ほんの数歩の足跡もあります。それぞれの足跡は、神さまの御心のままに救いの計画の一点として置かれてきました。

ある日、近藤恵姉妹は教会に置いてあった「バングラデシュ宣教」と書かれた一枚のニュースレターに目を留めました。そしてその働きのために支援者の一人として祈り始めました。それがこのバトンタッチの第一歩だったとは、近藤姉妹ご自身、思いもしなかったのではないのでしょうか？そしてそのニュースレターを書いていた私も、そこにバトンを差し出す相手がいたとは、想像もしませんでした。

神さまはこのようにして何年も前から近藤姉妹を整え始め、今、バングラデシュの地に送り出そうとしています。人は神さまの計画を初めから終わりまで見極めることはできませんが、その計画の一点として近藤姉妹が用いられることを本当に嬉しく思います。これから近藤姉妹がバングラデシュの地につける足跡は、人の目に見えようと見えなかりと神さまが御心のままに置かれる足跡です。その一步一步が豊かに祝福されますように、心からお祈りいたします。

(ノイマン祐子・元バングラデシュ宣教師)

Prayer request

1. 10月初旬にバングラデシュに出発したいと願っています。VISA取得、ベンガル語の学び、その他の準備のために。
2. 教会訪問の機会が与えられ、良い交わりができますように。
3. 引き続いての英語の学びのために。
4. 自治医大前キリスト教会のために。
5. 母と姉の救いのために。

トロント報告・バングラデシュ派遣式

近藤恵宣教師の派遣式が6月30日、お茶の水クリスチャンセンターで開かれたLM-J宣教大会の中で行われました。

宣教大会では冒頭、恵宣教師の母教会・自治医大前キリスト教会の久保田周太郎師が説教の奉仕を行いました。27日に帰国したばかりの恵宣教師は主に守られ、スライドを使いながらカナダ・トロントでの研修内容を報告しました。さらに「支える会」代表の小堀日出春兄が、この間の会の活動内容を説明した後、LMI世界宣教会理事長の原田憲夫師をはじめ、理事の先生方、支える会のメンバーが按手の祈りを行い、恵宣教師のバングラデシュ派遣を主の御手に委ねました。

◆スライドショー

8か月の間に恵宣教師が撮影した枚数は約100ショット。クラスメートとなるドイツ人宣教師訓練生たち、良い交わりを持った現地のいくつかの教会、トロントのバングラデシュ人との交流、四季折々のトロントの街並み…。それぞれの写真には、主の恵みと思いがいっぱい――。



◆按手の祈り



恵宣教師は原田理事長ら計13人の按手を受けました。

「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます」

(マタイ28:19-20)

◆生きることは キリスト



「私にとっては、生きることはキリスト、死ぬことも益です。」(ピリピ1:21)

パウロの新しい人生は、文字通りこのキリストで始まりました。キリストを信じて生まれ変わったパウロに、第一に主は新しい使命を与えられました。キリスト者を人一倍熱心に迫害していたパウロが、この時からキリストを熱心に宣べ伝える者へと変えられたのです。

第二に主は新しい力を与えられました。それは罪に打ち勝ち、死の恐れに勝利して生きることができる力です。

(当日の説教要旨)

◆支える会の歩み

「支える会」は2007年1月に設立されて以来、これまでに12回の打ち合わせ会を開催してきました。07年2月のLM-J総会で医療宣教師として承認されてからは、内外にアピールするため、リーフレットを作成しました。さらに、年4回を目標にニュースレターを発行することを決め、このニュースレターは第5号となります。ホームページも立ち上げ、恵宣教師の近況を伝えるMe gリポートは28回、写真46枚をアップしました。

恵宣教師のために今日まで忘れず、祈りと献げ物とをもって支えてくださった皆様に感謝申し上げます。これからますます皆様のご支援が必要になってきます。引き続き、これまでに勝ってのご支援、よろしく願いいたします。恵宣教師の戦いの勝利のために、祈りの手を挙げ続けることができるよう、ともに支え合えたら幸いです。(当日の報告要旨、一部数字アップデート)

